

関西しものせき倶楽部 family 設立趣意書

(通称：しものせき倶楽部)

下関市は、本州の最西端に位置し、古くより九州や中国・朝鮮半島といった、アジア大陸からの玄関口として発展してきました。 壇ノ浦の源平合戦、巖流島の決闘、幕末維新、日清講和条約など、日本の歴史が大きく変わる舞台となった下関。

2005 年 2 月 13 日には、下関市と豊浦郡の菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町の 1 市 4 町が合併して、新しい「下関市」が誕生いたしました。

近年、豊かな自然環境は観光 PR にも使用され、今や日本の広域で取り上げられる名所にもなり、皆様の目に留まっていることと思います。また、多くの海産物は、下関産水産物ブランドとして工夫が重ねられ、食文化の一端を担うべく発信に努めておられます。これらの恵まれた豊富な資源を有効活用し、地域活性化のため、様々な取り組みをされているところです。また、若者世代にニーズの高い魅力的な仕事ができる企業の誘致や、県外からの移住にも力を入れておられます。

その様な故郷現況に並行し、関西地区におります下関市出身者、下関市に関与する企業が集結し、それぞれに抱く下関市の今昔を懐かしみ、愉しむ会を、この度、「関西しものせき倶楽部 family」の名称にて、設立する運びとなりました。

2022 年 1 月 21 日には、下関市長、前田晋太郎氏を訪問、会設立の趣意をお伝えし、快くご賛同いただきました。

会員は、関西地区のみならず、下関市や下関市の地元企業、有志の方々にもご参加いただき、一人ひとりが持ち合す「しものせき」の意見交換、情報交換を行い、双方の親睦を深めつつ自らの歴史を振り返り、下関人の誇りと人生の実りを実感して頂きたいと思いをします。

現在の厳しい社会情勢の中にこそ、ふるさと“下関市”と関西の“しものせき”が一丸となり、歴史に富める下関、未来にはばたく下関の更なる発展を願いに込め、「関西しものせき倶楽部 family」を設立することといたします。

上記、設立趣意にご賛同賜り、積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

令和 4 年 11 月吉日

発起人 大谷眞理